

アジア・オセアニア 豆 知 識



熱を帯びる、アジアの観光ビジネス

LCC（格安航空会社）の台頭、ビザの発給緩和など海外旅行を後押しする環境が整い、世界で観光ビジネスの存在感が増してきています。UNWTO（国連世界観光機関）によると、国際観光客到着数、国際観光収入は堅調に増加しており、今後も上向きに推移していく見通しです。中でも、近年ではアジア地域の成長が力強く、更なる発展が期待されています。

資源×戦略でアジアの観光ビジネスは飛躍

アジア特有の食べ物、文化、観光地などの資源が注目され、昨今のアジアは観光先として人気を博しています。しかし、アジアの観光ビジネスが成長した背景にはこうした観光資源だけでなく、各国の知恵と労力を駆使した巧みな観光誘致の戦略の存在もあります。

◆アジアの主要な観光誘致策◆

統合型リゾートの拡充

カジノ、リゾート開発が各国で花盛り。カジノ合法化を進め、主に富裕層を誘致。

国際会議を多数開催

世界を代表する参加者に各国の魅力をアピールし、国際的な知名度の向上を図る。

エンターテインメント

コンサートなどイベントを多数開催。また、ドラマや映画などのメディアでブームや話題を創る。

★参考～シンガポールの観光誘致～★



観光スポットとして有名な「マライオン」も、シンガポールが観光立国を目指して創り上げた観光資源の1つです。

シンガポールは天然の観光資源に乏しい国でしたが、様々な施設を創り観光資源を産み出してきました。無から有を創りだす戦略で、シンガポールの国際観光客到着数と国際観光収入は右肩上がりに増加し、アジアを代表する観光立国の地位を築きました。

今後も成長が期待されるアジア

アジアでは、ASEAN（東南アジア連合諸国）が2017年から「ビジット・ASEAN@50」という観光キャンペーンを開始しました。各国の多様性や文化、自然を感じることでできるツアーを企画し、ASEAN全体の観光促進を図ることを目的としています。

また、先進国と比べて遅れていた観光インフラ整備も進む予定で、今後もアジアでは観光ビジネスが拡大していくことが期待されます。観光資源と戦略を併せ持つアジアの観光ビジネスに今後も注目が集まります。

（注）各種報道資料等を基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。